

令和 5年度

事務事業評価表 (令和 4年度 の実績評価)

記入年月日
令和 5 年 5 月 29 日

事務事業名		保育所入退所事務		事業区分		担当	
				新規/継続	継続	事務事業No.	010101000450
				単独/補助	単独		040201
政策体系上の位置付け						所属課	児童福祉課
政策体系	総合計画の施策名	0101	子育て支援の充実と少子化対策の推進				
	政策名	01	子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり		課長名		
	施策名	01	子育て支援の充実と少子化対策の推進		グループ		保育G
	手段名	01	①子育ての支援体制の充実		担当者名		
財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計
	01	03	02	02	01	00	教育・保育給付事業
				単年度繰返し (平成17年度~)			
				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
法令根拠 児童福祉法 認定こども園法 桜川市認定こども園の設置及び管理に関する条例・施行規則、桜川市保育所広域入所実施要領、桜川市保育施設利用調整委員会設置要綱							

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<ul style="list-style-type: none"> ・満3歳以上の子ども及び満3歳未満の保育を必要とする子ども(保護者の月64時間以上の就労・疾病等)で、支給認定を受けた者の保護者からの入所申込みにより審査を経て決定する。 ・定員を超える場合には、桜川市保育の必要性の認定基準に関する条例に基づき、保育の必要性が高いと認められる支給認定子どもが優先的に利用できるよう総合的に判定する。また、新年度入所については、桜川市保育施設利用調整委員会で協議する。 ・入園要件がなくなった等の退所事務。 ・保育を必要とする子どもの保護者から他市町村に所在する保育施設に入所申込みがあった場合は、当該市町村と協議を行う「管外委託」事務。他市町村から協議を受ける「管外受託」事務。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支給認定申請書兼入所申込書の受理(入所希望月の前月10日締め、新年度4月入所の場合には第1次受付10月、第2次受付2月上旬)、審査、入所判定、決定、保育システムの入力、利用承諾書及び不承諾通知書の作成と通知。 ・桜川市保育施設利用調整委員会の開催(12月中)。 ・教育・保育施設との連絡調整。 ・退所届受付等事務、園と保護者への解除通知及び作成。 ・「管外委託」「管外受託」に係る事務。 ・子ども・子育て支援にかかる情報公表システム等の情報確認業務を行う。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> ・保育の必要性のある子どもの入所申込受理、審査、決定等。 ・桜川市保育施設利用調整委員会の開催。 ・退所届受付等事務。 ・「管外委託」「管外受託」に係る事務。 	入所延児童数	人	740.00	730.00	668.00	650.00	650.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
<ul style="list-style-type: none"> ・満3歳以上の子ども及び満3歳未満の保育を必要とする子ども。 ・市外保育施設を希望する子ども。 ・市内保育施設を希望する管外の子ども。 	入所希望延児童数	人	737.00	717.00	664.00	650.00	650.00
	管外委託延児童数	人	34.00	32.00	23.00	20.00	20.00
	管外受託延児童数	人	24.00	15.00	22.00	20.00	20.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
<ul style="list-style-type: none"> ・保育の実施により、保育の必要性のある子どもが心身ともに健やかに成長でき、また、保護者が安心して就労できる。 	待機児童数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	千円	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	期間限定総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
			国庫支出金	0	0	0			
			県支出金	0	0	0			
			地方債	0	0	0			
			使用料・手数料	0	0	0			
			その他	0	0	0			
			一般財源	0	0	20			
			事業費計(A)	0	0	20			
			正規職員従事人数	6.00人	6.00人	6.00人			

04年度事業費 実績 (千円)

05年度事業費 予算 (千円)

				07 報償費	18			
				10 需用費	2			
				合計	0		合計	20

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・保育教育施設入退所に係る事務 ・桜川市保育施設利用調整委員会の開催 ・教育・保育施設との連絡調整 ・「管外委託」「管外受託」に係る事務 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育教育施設入退所に係る事務 ・桜川市保育施設利用調整委員会の開催 ・教育・保育施設との連絡調整 ・「管外委託」「管外受託」に係る事務 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育教育施設入退所に係る事務 ・桜川市保育施設利用調整委員会の開催 ・教育・保育施設との連絡調整 ・「管外委託」「管外受託」に係る事務

事務事業名	保育所入退所事務	事務事業No.	10101000450	所属課	児童福祉課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
児童福祉法により自治体は保育の実施義務を課されてきたが、平成27年に開始された子ども子育て支援新制度により保育所や幼稚園、認定こども園などの施設を整備することや待機児童の解消を図るため保育の提供を拡充することが求められるようになった。 現在市内においては1の公立認定こども園、5の私立認定こども園、1の小規模保育施設が認可されている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
家族形態の変化、核家族化の増加に伴い育休明けによる0～2歳児といった低年齢児の入所希望者、勤務先の近くの保育施設への入所希望者が増加している。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 保育の実施により、保育の必要性のある子どもが心身ともに健やかに成長でき、また、保護者が安心して就労できる環境の一環をなしており、市の政策に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市町村は児童福祉法第24条及び子ども・子育て支援法の定めるところにより、保護者の労働又は疾病その他の事由により、その監護すべき乳児、幼児その他の児童について保育を必要とする場合において保育しなければならない。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 以前からの懸念であった保育士不足は解消され、概ね希望に沿った受入れができています。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 入所希望に対する適切な利用調整ができなくなり、利用希望保護者や保育施設に与える負荷が大きい。また法律に規定されているので廃止することはできない。	
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 保育施設等との連絡調整等、申込書の受理から入所決定までに相当の時間が必要となる。
⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 旧町村単位それぞれに設置され、児童数に比例して、受け入れ体制が整っている。広域入所希望者も対象としており公正・公平である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	⇨	年度途中入所については、施設の協力を得て、円滑に入退所業務を進めることができた(令和4年度待機児童数0名)。新年度の入所受付(利用調整)については、前年度と比べ申込数が減少しているが、低年齢児の利用ニーズは高く、適切な規模による保育の確保が大切である。令和5年度4月1日時点の待機児童は令和4年に引き続き0名となった。																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 ■ 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 □ 休止 ➡ <input type="checkbox"/> 改革改善を行う ➡ <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×		低下		×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					
	(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ②																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>